**杉野 十佐一 （すぎの・とさいち）**

**１、プロフィール**

川柳作家。昭和18年川柳入門。昭和26年蟹田町に「おかじょうき川柳社」創立。川上三太郎の句碑を龍飛岬に建立する等、県柳界の発展に尽力した。

＜生没＞

1906（明治39）年11月10日～1979（昭和54）年９月４日

＜代表作＞

川柳色紙句集『旅鴉』

川柳句集『やませ』

＜青森との関わり＞

青森市に生まれる。昭和11年より蟹田町で薬店経営。

**２、作家解説**

明治39年青森市に生まれる。本名林平。大正９年金原商店入社。15年薬種商、昭和11年より蟹田町で薬店経営。蟹田町では、町会議員、教育委員などを務める。

昭和18年川柳入門。県内では「津可呂川柳社」代表西谷みさを、中央では「川柳研究」主幹川上三太郎に師事。26年漆戸風々子、鷲尾鶏助、長内健坊、工藤安亭等と「おかじょうき川柳社」を創立。以後死去するまで代表を務める。

川上三太郎とは師弟を超えて親交が深かった。その交流から昭和41年龍飛岬に川上三太郎句碑を建立。全国に多数ある三太郎句碑に類のない規模と景観を誇っている。

県柳界では独特の人間的魅力で多くの柳人を育成。各大会の選者を務めるなど、県柳界の重鎮として活躍。作品はユーモアの効いた味のある作風で人気があった。

昭和54年９月４日死去。享年74。

昭和55年５月５日「旅鴉心を空の色にする」の句碑を蟹田町観欄山に建立。

**３、資料紹介**

〇『やませ』

図書

1986（昭和61）年９月４日

183mm×130mm

川柳句集。著者の遺句集。著者生前の作品から150句を収録。著者独特のユーモアあふれる句集である。編集高田寄生木。発行人杉野草兵。

〇『旅鴉』

図書

1986（昭和61）年６月15日

183mm×130mm

川柳色紙句集。独特な書体を持つ著者の色紙は多くの柳人に好評であった。その色紙50枚を一冊にまとめたユニークな句集である。編集高田寄生木。発行人杉野草兵。